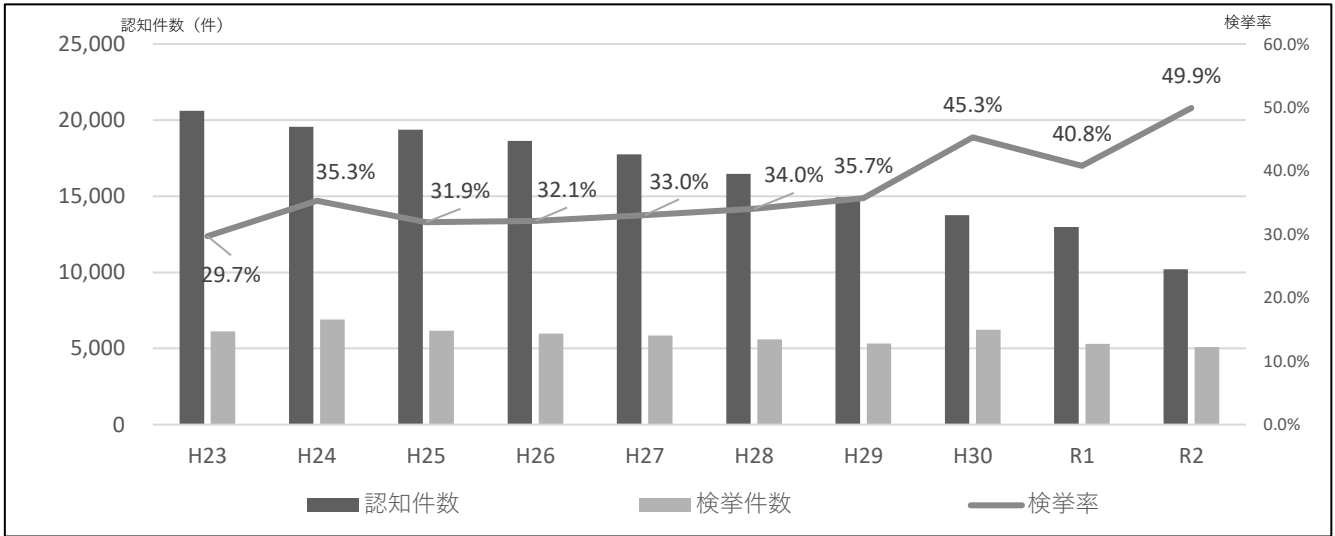


本県における犯罪情勢について

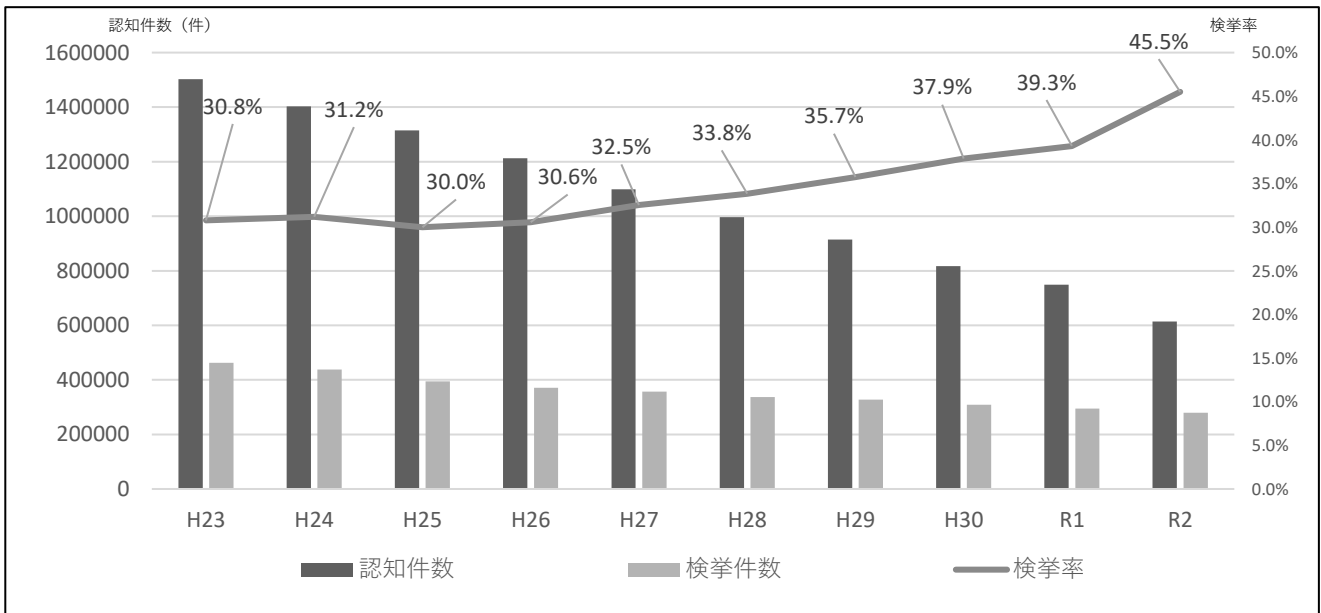
刑法犯認知件数の推移（宮城県）



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
認知件数	20,605	19,561	19,367	18,630	17,742	16,466	14,929	13,755	12,979	10,193
検挙件数	6,125	6,896	6,176	5,981	5,859	5,599	5,326	6,226	5,295	5,090
検挙率	29.7%	35.3%	31.9%	32.1%	33.0%	34.0%	35.7%	45.3%	40.8%	49.9%

※宮城県警察本部より

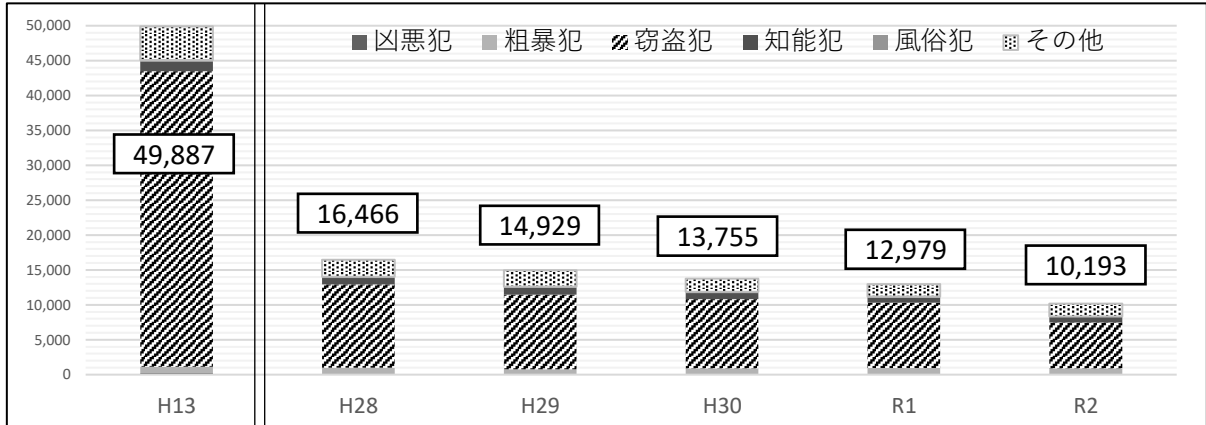
刑法犯認知件数の推移（全国）



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
認知件数	1,502,951	1,403,167	1,314,140	1,212,163	1,098,969	996,120	915,042	817,338	748,559	614,231
検挙件数	462,535	437,610	394,121	370,568	357,484	337,066	327,081	309,409	294,206	279,185
検挙率	30.8%	31.2%	30.0%	30.6%	32.5%	33.8%	35.7%	37.9%	39.3%	45.5%

※警察庁より

包括罪種別刑法犯認知件数の推移（宮城県）



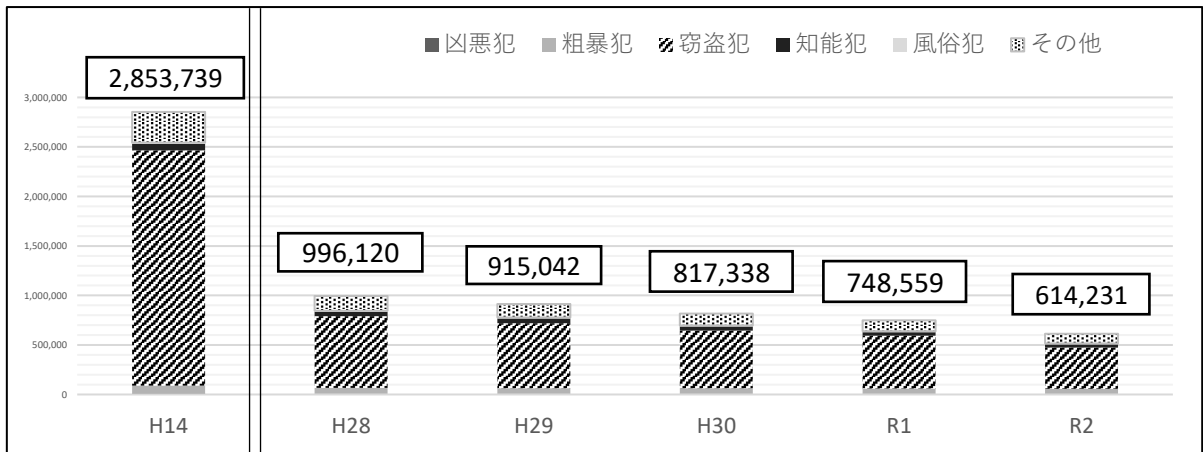
刑法犯罪種別推移	H13	H28	H29	H30	R1	R2	H13～R2 減少率
凶悪犯	207	87	63	60	64	70	66%
粗暴犯	919	904	726	850	912	851	7%
窃盗犯	42,355	11,944	10,656	9,919	9,336	6,564	85%
知能犯	1,374	908	971	876	733	753	45%
風俗犯	231	165	191	178	150	103	55%
その他	4,801	2,458	2,322	1,872	1,784	1,852	61%
合計	49,887	16,466	14,929	13,755	12,979	10,193	80%

【包括罪種】 刑法犯を「凶悪犯」「粗暴犯」「窃盗犯」「知能犯」「風俗犯」「その他の刑法犯」の6種に分類したもの。

【凶悪犯】 殺人、強盗、放火、強制性交【粗暴犯】 暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合【窃盗犯】 窃盗

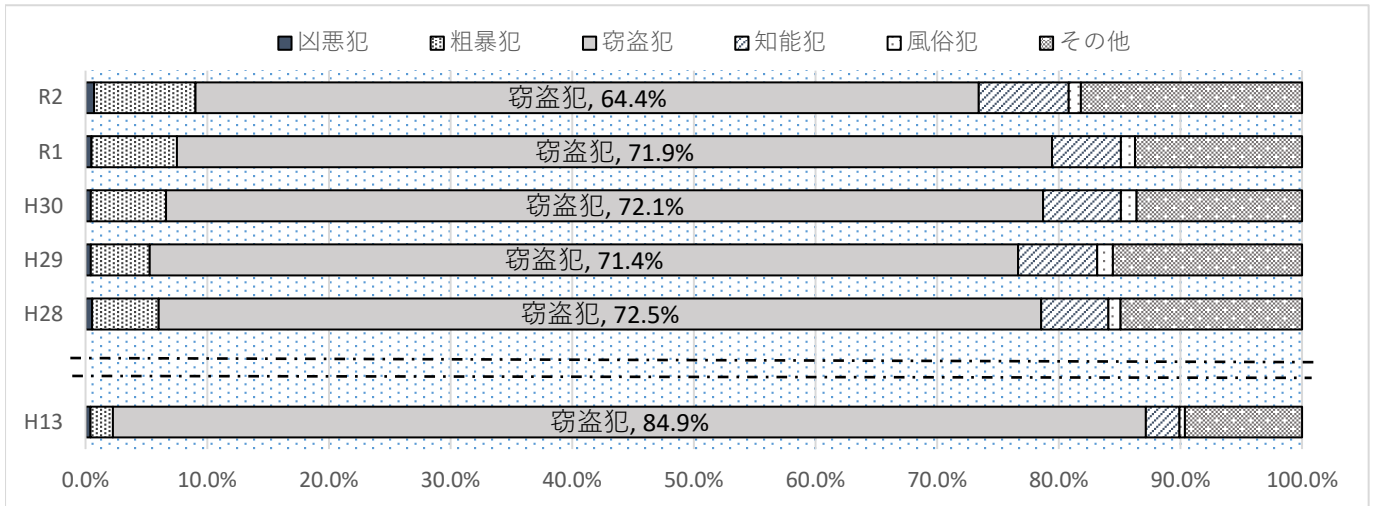
【知能犯】 詐欺、横領、偽造、汚職、背任など【風俗犯】 賭博、わいせつ【その他刑法犯】 公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、器物損壊など

包括罪種別刑法犯認知件数の推移（全国）



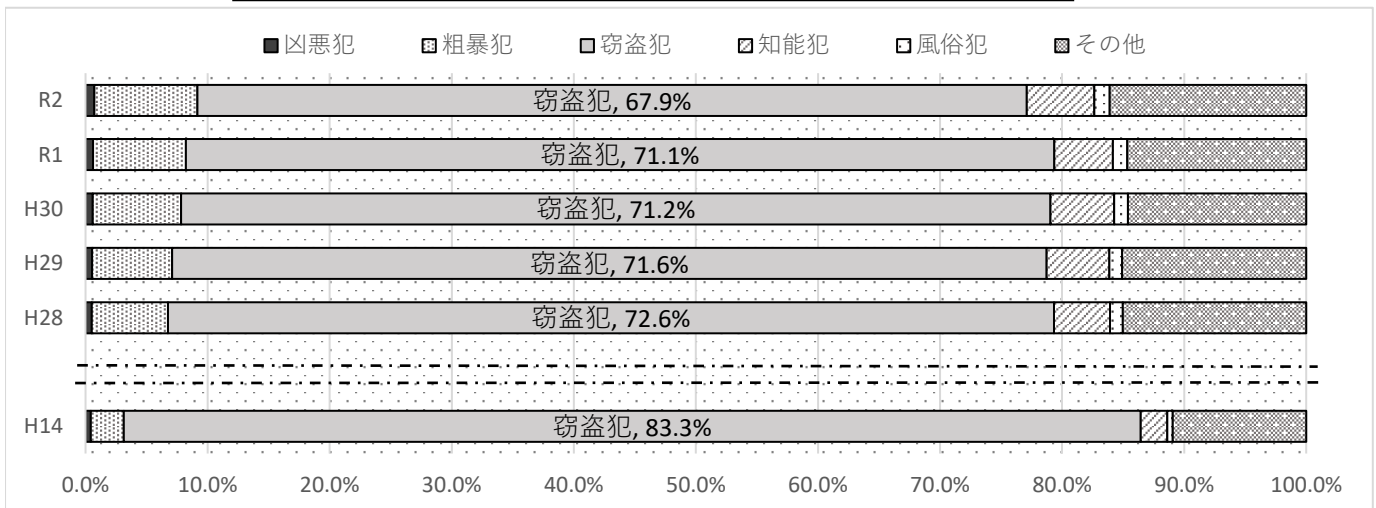
刑法犯罪種別推移	H14	H28	H29	H30	R1	R2	H14～R2 減少率
凶悪犯	12,567	5,130	4,840	4,900	4,706	4,444	65%
粗暴犯	76,573	62,043	60,099	59,139	56,753	51,829	32%
窃盗犯	2,377,488	723,148	655,498	582,141	532,565	417,291	82%
知能犯	62,751	45,778	47,009	42,594	36,031	34,065	46%
風俗犯	12,220	10,385	9,699	9,112	8,710	7,723	37%
その他	312,140	149,636	137,897	119,452	109,794	98,879	68%
合計	2,853,739	996,120	915,042	817,338	748,559	614,231	78%

刑法犯認知件数の包括罪種別割合（宮城県）



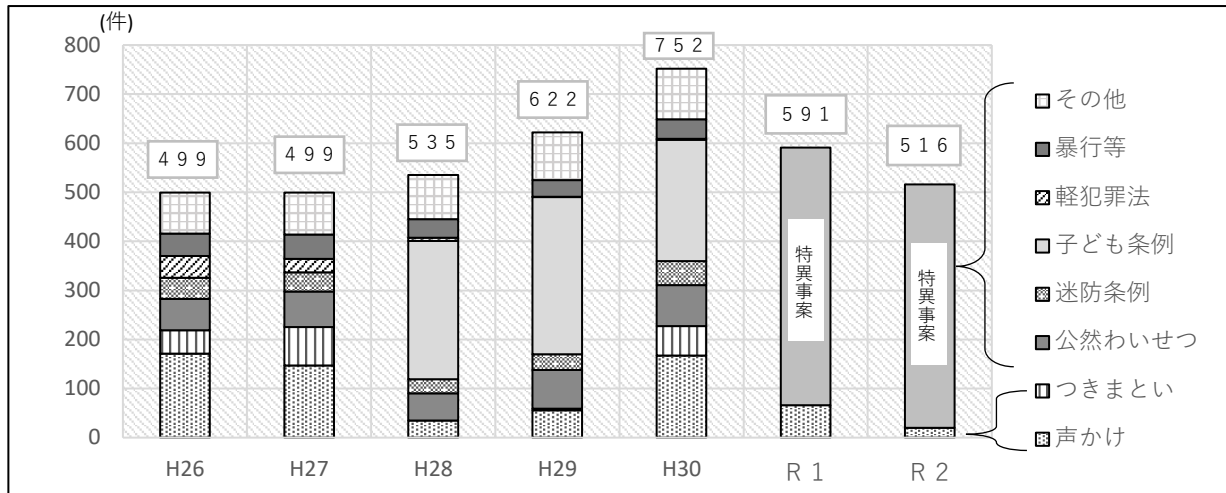
	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
R2	0.7%	8.3%	64.4%	7.4%	1.0%	18.2%
R1	0.5%	7.0%	71.9%	5.6%	1.2%	13.7%
H30	0.4%	6.2%	72.1%	6.4%	1.3%	13.6%
H29	0.4%	4.9%	71.4%	6.5%	1.3%	15.6%
H28	0.5%	5.5%	72.5%	5.5%	1.0%	14.9%
H13	0.4%	1.8%	84.9%	2.8%	0.5%	9.6%

刑法犯認知件数の包括罪種別割合（全国）



	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
R2	0.7%	8.4%	67.9%	5.5%	1.3%	16.1%
R1	0.6%	7.6%	71.1%	4.8%	1.2%	14.7%
H30	0.6%	7.2%	71.2%	5.2%	1.1%	14.6%
H29	0.5%	6.6%	71.6%	5.1%	1.1%	15.1%
H28	0.5%	6.2%	72.6%	4.6%	1.0%	15.0%
H14	0.4%	2.7%	83.3%	2.2%	0.4%	10.9%

## 13歳未満の子どもに対する声かけ事案等の発生状況（宮城県）



	H26	H27	H28	H29	H30		R 1	R 2
声かけ	171	147	35	56	167	声かけ・つきまとい	66	20
つきまとい	48	78	0	3	60			
公然わいせつ	64	73	55	79	84	特異事案 (公わい・迷防・子ども条例・軽犯・暴行などの合計)	525	496
迷防条例	43	39	29	32	49			
子ども条例	—	—	282	320	247			
軽犯罪法	44	27	6	1	2			
暴行等	46	50	38	34	40			
その他	83	85	90	97	103			
合計	499	499	535	622	752		591	516

※数値データ：宮城県警察本部より

※R 1から分類が「声かけ・つきまとい」と「特異事案」に変更されている。

※子ども条例は平成28年1月1日施行

### 【用語の説明】

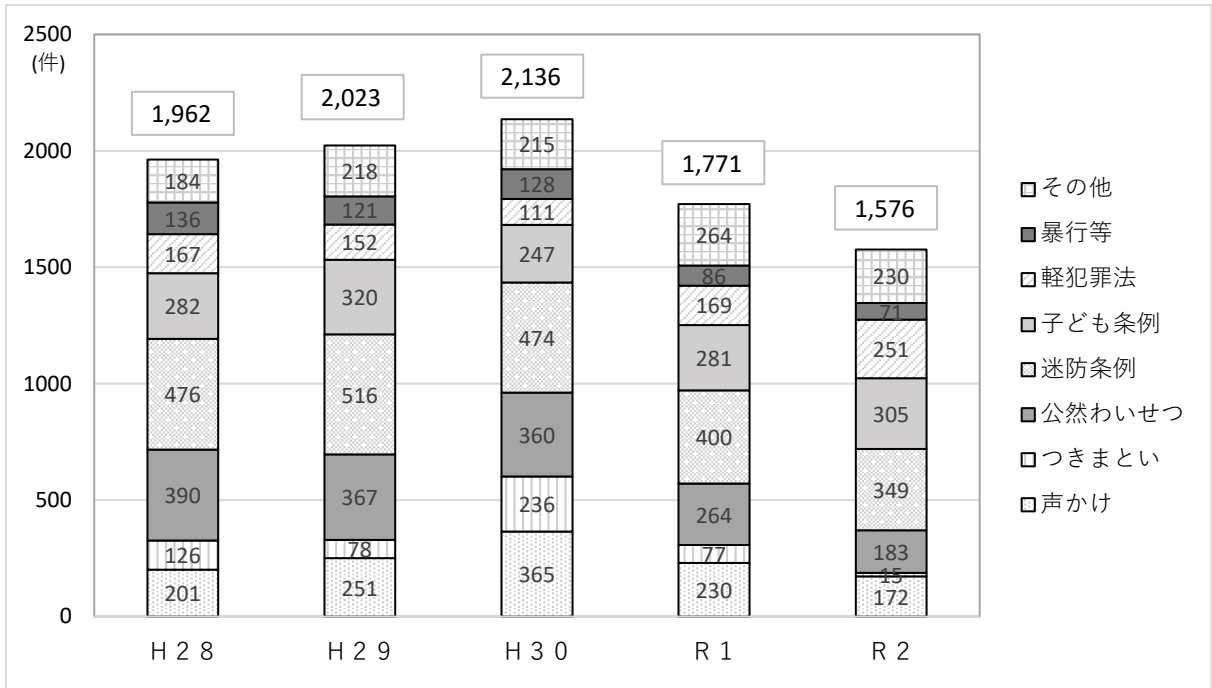
【声かけ】不安・困惑を覚えさせるような声かけ【つきまとい】正当な理由がないのに人につきまとう、立ちふさがり行為（声かけ・つきまといは平成28年以降は子ども条例に該当しない行為）【公然わいせつ】公共の場所などで公然と性器を露出するなどのわいせつ行為【迷防条例】公衆の場所における卑わいな言動（性的な声かけ・痴漢）や、盗撮などの人に不安を覚えさせる行為【子ども条例】条例に規定する禁止行為（誘い出す声かけ・義務無き要求・乱暴言動・身体をつかむ・立ちふさがりつきまとう行為）【軽犯罪法】軽犯罪法第1条第28号に規定する「追従行為」など

## 子ども被害の刑法犯認知件数（宮城県）

	H28	H29	H30	R1	R2
13歳未満	251	178	135	109	95
	1.5%	1.2%	1.0%	0.8%	0.9%
13歳以上	1,949	1,592	1,319	1,316	798
20歳未満	11.8%	10.7%	9.6%	10.1%	7.8%
20歳未満	2,200	1,770	1,454	1,425	893
合計	13.4%	11.9%	10.6%	11.0%	8.8%

※ 下段は全年代に占める比率

子ども・女性（全年齢）に対する声かけ事案等の発生状況（宮城県）



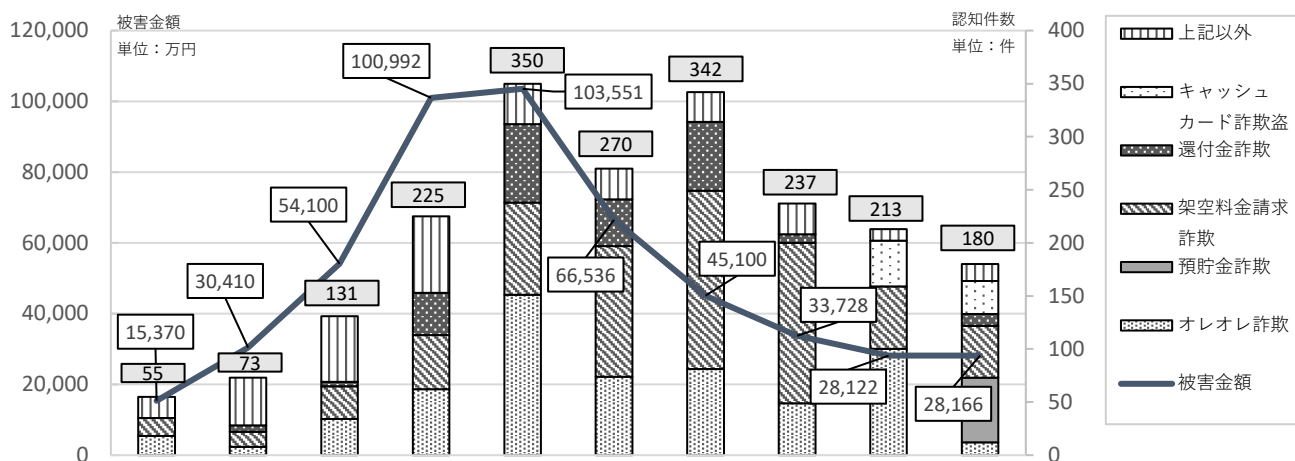
	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 2 割合
声かけ	201	251	365	230	172	11%
つきまとい	126	78	236	77	15	1%
公然わいせつ	390	367	360	264	183	12%
迷防条例	476	516	474	400	349	22%
子ども条例	282	320	247	281	305	19%
軽犯罪法	167	152	111	169	251	16%
暴行等	136	121	128	86	71	5%
その他	184	218	215	264	230	15%
合計	1,962	2,023	2,136	1,771	1,576	100%

- 声かけ事案等の届出件数は横ばいに推移。
- 迷防条例違反（痴漢・盗撮など）の届出件数が多い。

【主な声かけ事案等の発生例】

- 路上で自転車に乗った男が、すれ違いざまに女性の胸を触る（迷防条例違反）
- 路上で女子小学生に対し見知らぬ男が「住所教えろ」などと声をかける（子ども条例違反）
- 路上で出勤中の女性に対し、男が下半身を露出して腕をつかむ（公然わいせつ・暴行）

### 特殊詐欺被害状況の推移（宮城県）



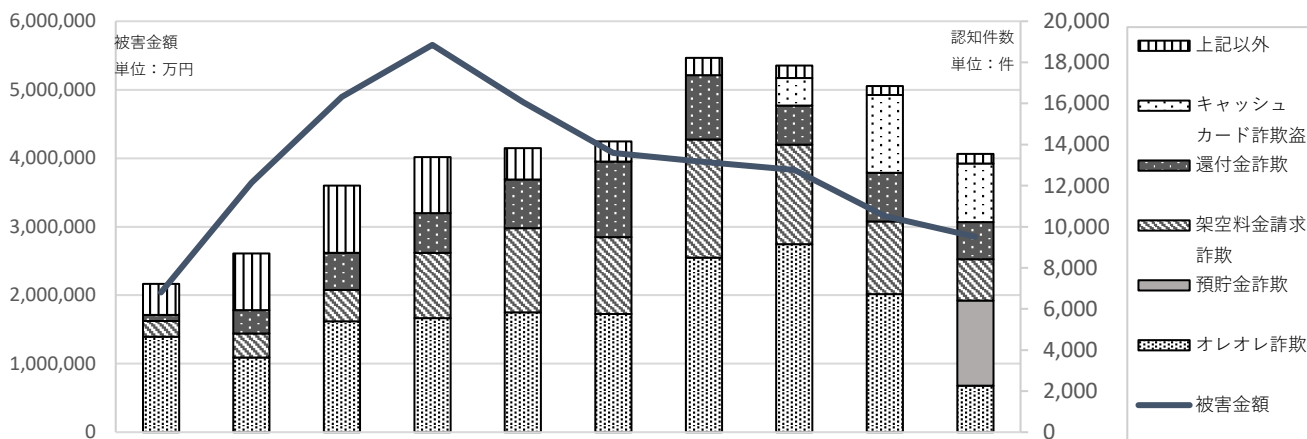
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
被害金額	15,370	30,410	54,100	100,992	103,551	66,536	45,100	33,728	28,122	28,166
認知件数	55	73	131	225	350	270	342	237	213	180
オレオレ詐欺	18	8	34	62	151	74	81	49	100	12
預貯金詐欺										61
架空料金請求詐欺	17	14	31	51	87	123	168	151	59	49
還付金詐欺	0	6	4	40	74	44	65	8	0	11
キャッシュカード詐欺盗									43	31
上記以外	20	45	62	72	38	29	28	29	11	16

○ 令和2年から、特殊詐欺の類型が10類型に分類された。（7ページ参照）

○ 預貯金詐欺は、従来オレオレ詐欺に含まれていた犯行形態を新たな手口として分類された。

※ 数値データ：宮城県警察本部より

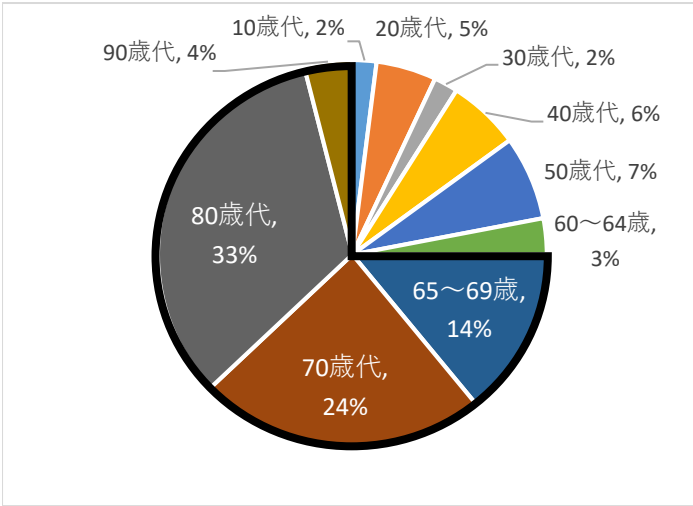
### 特殊詐欺被害状況の推移（全国）



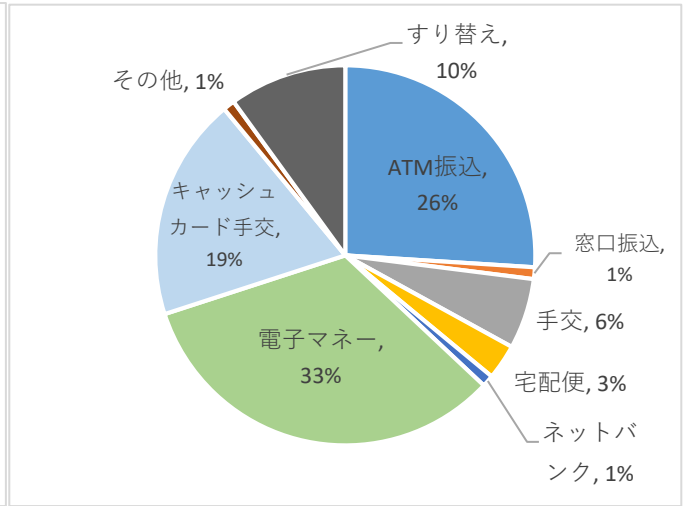
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
被害金額	2,040,431	3,643,611	4,894,949	5,655,069	4,819,798	4,076,565	3,947,487	3,828,676	3,158,294	2,852,336
認知件数	7,216	8,693	11,998	13,392	13,824	14,154	18,212	17,844	16,851	13,550
オレオレ詐欺	4,656	3,634	5,396	5,557	5,828	5,753	8,496	9,145	6,725	2,272
預貯金詐欺										4,135
架空料金請求詐欺	756	1,177	1,522	3,180	4,097	3,742	5,753	4,844	3,533	2,010
還付金詐欺	296	1,133	1,817	1,928	2,376	3,682	3,129	1,904	2,375	1,804
キャッシュカード詐欺盗								1,348	3,777	2,850
上記以外	1,508	2,749	3,263	2,727	1,523	977	834	603	441	479

※数値データ：警察庁より

特殊詐欺被害状況・年代別（令和2年・宮城県）

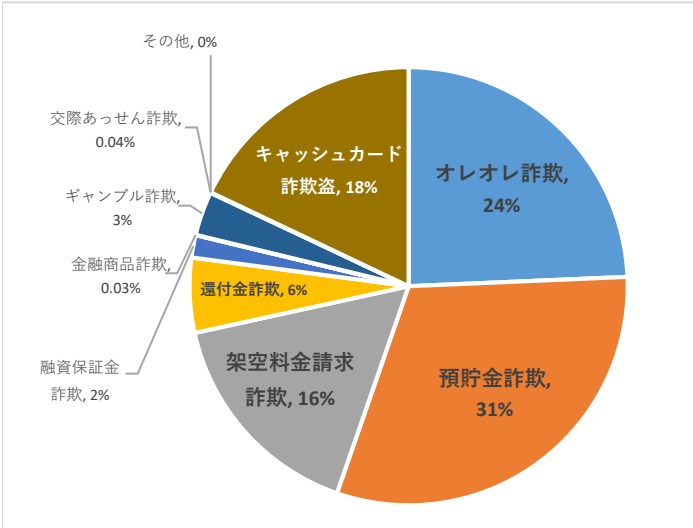


特殊詐欺被害状況・送金手段（令和2年・宮城県）



- 65歳以上の高齢者被害が全体の75%を占める。
- 性別では、女性71%・男性29%。
- 送金件数は電子マネーが多く、架空料金請求詐欺の被害者が複数店舗で電子マネーを購入することが要因と分析される。

特殊詐欺被害額の割合（令和2年・宮城県）

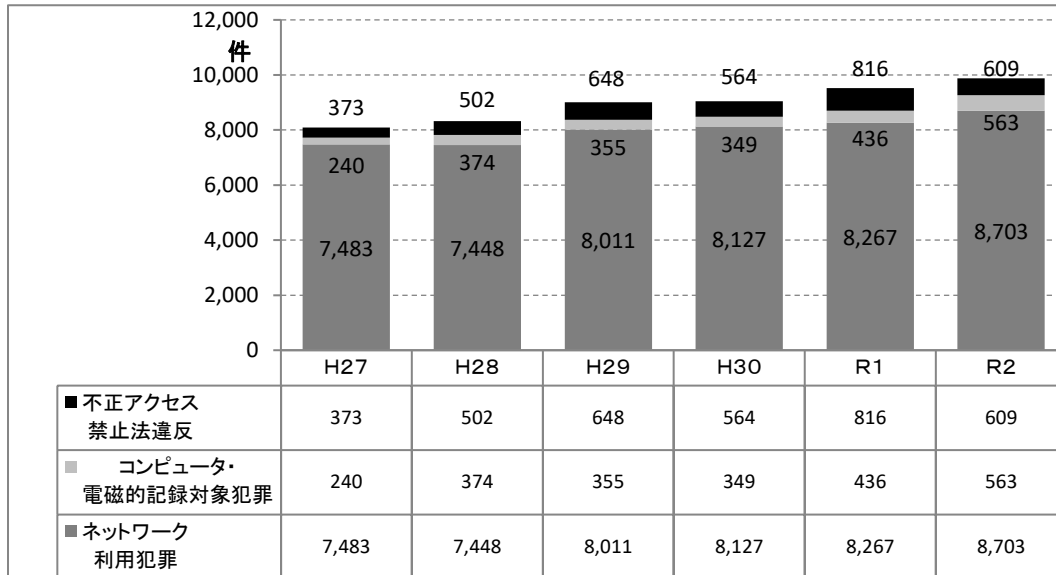


	認知件数	被害金額 (万円)	被害額割合	1件当たり 被害額(万円)
オレオレ詐欺	12	6,850	24%	571
預貯金詐欺	61	8,728	31%	143
架空料金請求詐欺	49	4,582	16%	94
還付金詐欺	11	1,555	6%	141
融資保証金詐欺	10	465	2%	47
金融商品詐欺	1	8	0.03%	8
ギャンブル詐欺	4	911	3%	228
交際あっせん詐欺	1	12	0.04%	12
その他	0	0	0%	0
キャッシュカード詐欺盗	31	5,055	18%	163
合計	180	28,166	100%	

特殊詐欺の類型（令和2年から）

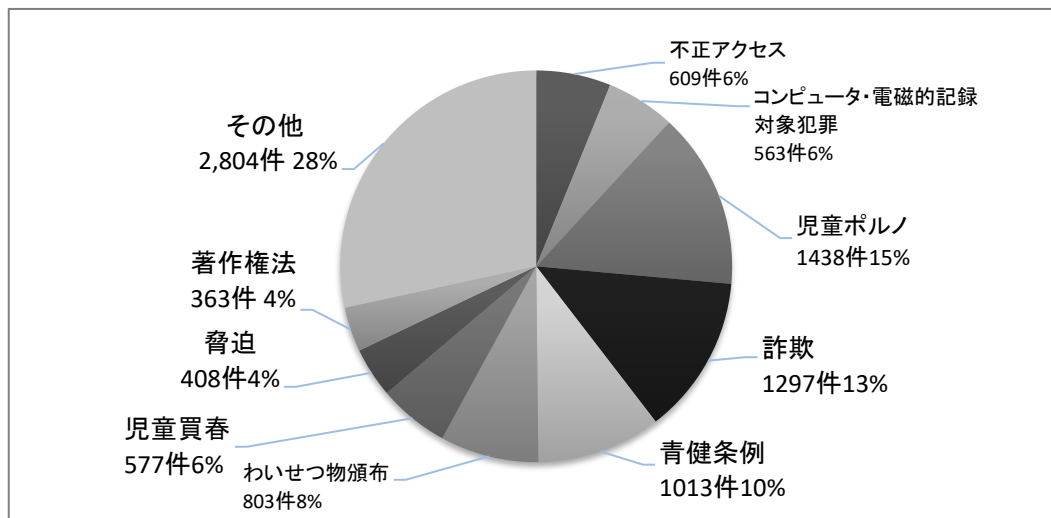
オレオレ詐欺	親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
預貯金詐欺	親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
架空料金請求詐欺	未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
還付金詐欺	税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る電子計算機使用詐欺事件又は詐欺事件をいう。
融資保証金詐欺	実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
金融商品詐欺	架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関する虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、その購入名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。これら金融商品に対して、購入意思のない被害者に名義貸しをさせた後、名義貸しをしたことによるトラブル解決名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
ギャンブル詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と掲載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信する等し、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して会員登録料や情報料等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
交際あっせん詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載したり、不特定多数の者に対して「女性紹介」等を記載したメールを送付するなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して会員登録料や保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
その他の特殊詐欺	上記特殊詐欺の類型に該当しない特殊詐欺をいう。
キャッシュカード詐欺盗	警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、キャッシュカード等を窃取するものをいう。

### サイバー犯罪の検挙件数の推移状況(全国)

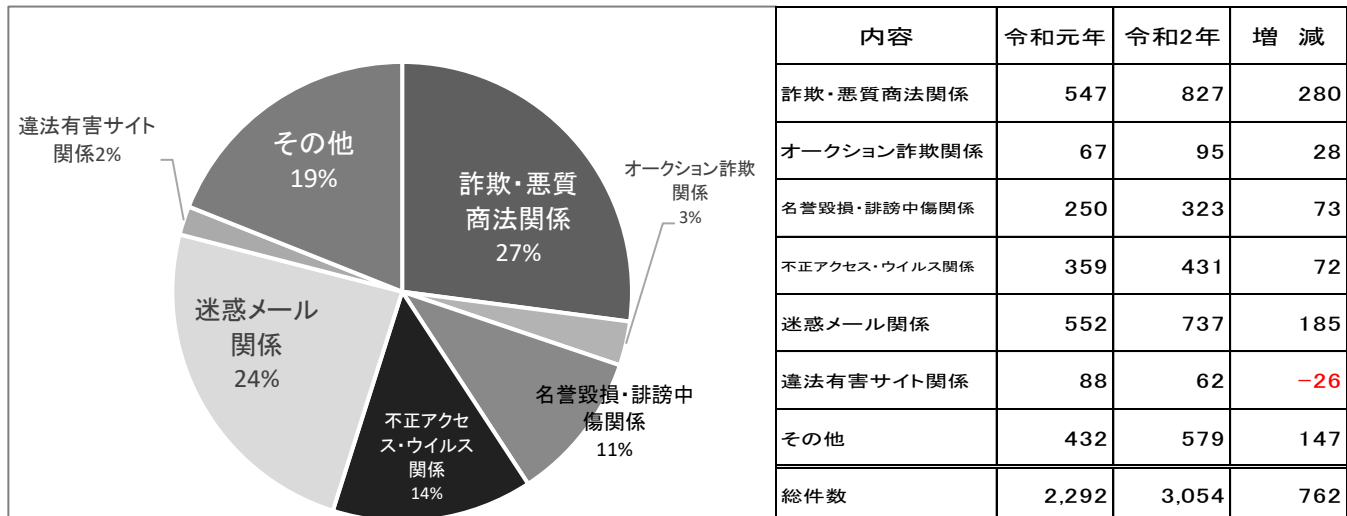


- 不正アクセス禁止法違反: 他人のIDやパスワードを利用することなどにより、コンピュータに不正にアクセスする行為など
- コンピュータ・電磁的記録対象犯罪: コンピュータに不正な指令を与えて、他人の口座から自分の口座に預金を移す行為など
- ネットワーク利用犯罪: インターネットを利用した詐欺などの刑法犯罪や児童買春、児童ポルノの頒布など
- ※ 数値データ: 警察庁より

### サイバー犯罪の検挙割合(令和2年, 全国)



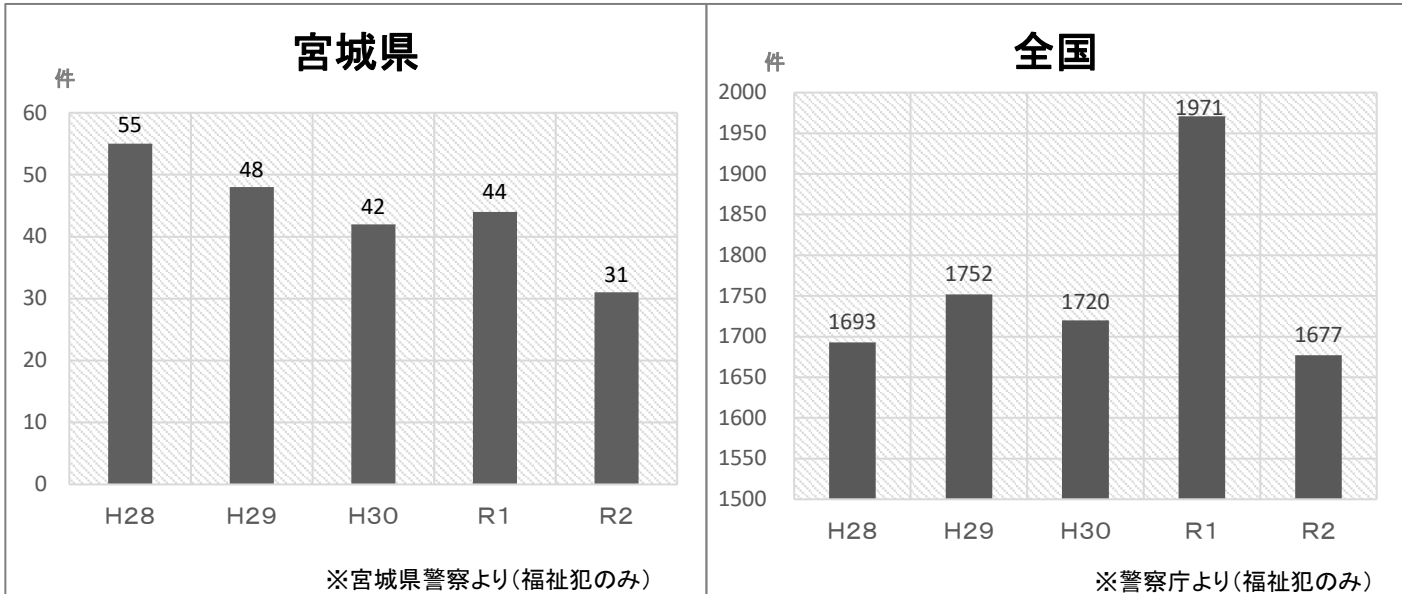
### 令和2年中のサイバー関係相談の内訳(宮城県)



※数値データ: 宮城県警察サイバー犯罪対策課より

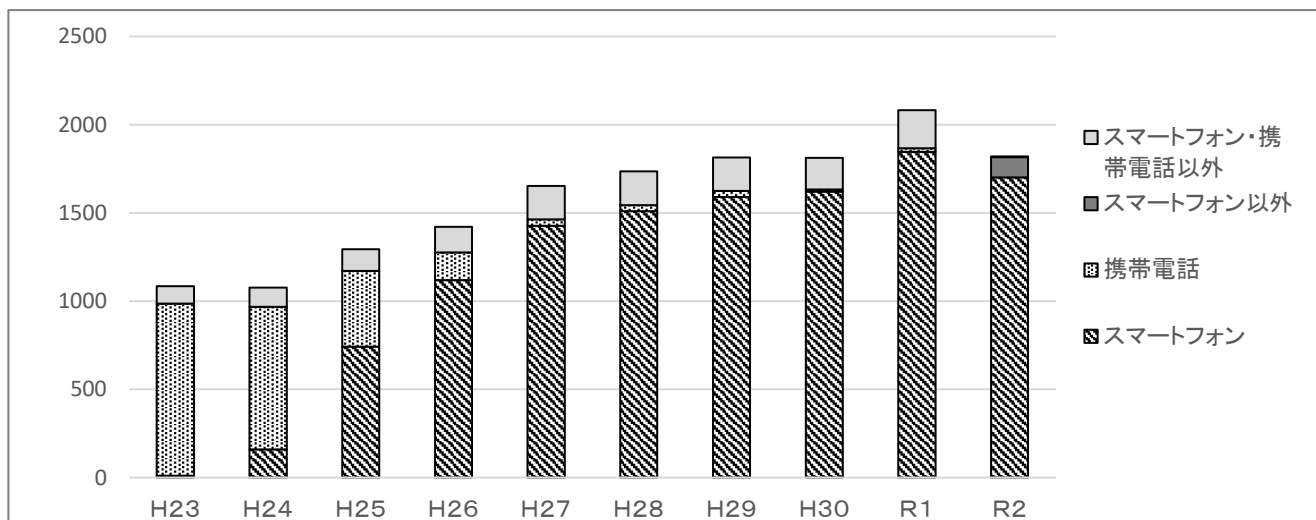


## SNSに起因する事犯の被害児童数



福祉犯:児童買春に係る犯罪, 児童の心身に有害な影響を与える行為をさせる犯罪, その他少年の福祉を害する犯罪  
(青少年健全育成条例, 児童買春・児童ポルノ法, 児童福祉法等)

## SNSに起因する事犯の被害児童のアクセス手段(全国)



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
被害児童数	1085	1076	1293	1421	1652	1736	1813	1811	2082	1819
携帯電話	986	968	1171	1276	1464	1543	1625	1632	1867	-
スマートフォン	11	160	741	1118	1427	1509	1590	1621	1845	1701
パソコン	79	79	71	43	36	34	23	13	9	-
ゲーム機	0	0	0	0	13	19	20	10	8	-
その他	5	24	45	90	122	140	144	154	196	-
スマートフォン以外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	115
不明	15	5	6	12	17	0	1	2	2	3
全体に占めるスマートフォンの割合	1%	15%	57%	79%	86%	87%	88%	90%	89%	94%

※ 令和元年までは, 携帯電話(スマートフォンを含む), パソコン, ゲーム機, その他, 不明で分類し, 令和2年からはスマートフォン, スマートフォン以外, 不明で分類。  
※ 警察庁より(重要犯罪被害者も含むため、前記数値とは異なる)

## SNSに起因する事犯の被害児童のフィルタリング利用率(全国:警察庁より)

フィルタリング	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
利用あり	49	35	33	34	40	173	130	187	232	167
利用なし	546	472	593	691	724	1,292	1,410	1,372	1,490	984
利用率	8%	7%	5%	5%	5%	12%	8%	12%	13%	15%